

【西日本夏期講座に参加して】

去る7月18日～19日、部落解放・人権西日本夏期講座に参加しました。

イーデスハンソンさんは、講演の中で部落差別について、「差別する側の人には、差別する理由として『私たちとは違う、昔は差別された、違う仕事をしてきたから』という。何かが本当に違うのだと信じ切っている。その何かについては誰も何も分からない。『とにかく周りのみんながそう言っているから』という。」と、説かれました。

これは、部落に対する偏見は、知らず知らずのうちに持たされたものであることを示しています。実際、みんな同じ日本人であり、何の違いもありません。何かが違うという根拠のない考えを持つことは偏見を持つことです。

また、過去において違う職業についていたことは、差別してよいという正当な理由にはなりません。職業差別は何時の時代でも、どこの国でも悪いことです。昔の誤った職業観を肯定することなく、見直していくべきだと思います。

江口徹子さんは、講演で母親の励まし・家族の絆を支えにして、辛い差別の波にさらされながらも、その艱難辛苦に立ち向かい歩んだ自分の人生を語られました。

自分の正しいと考える道を求めて、たくましく歩む人生は立派だと思いました。

江口さんの17歳の娘さんは、差別を受ける苦しみをつづった丸岡忠雄さんの詩を読んだとき、「差別から逃れるため、ふるさとを隠す気持ちは痛いほどよく分かる。でも、私はふるさとを名乗りたい。きれいな海もある。素晴らしいおばあちゃんもいる。私はふるさとを隠すことはしない。大好きだから。」と言ったそうです。

小さな胸に差別への不安を抱きながらも、好きなふるさとを名乗ろうとする娘さんの素直さ・強さに感銘しました。

部落解放講座を開催します

● テーマ 「部落」「差別」って何？ ●

自分たちが思ってきた「差別」って何なのでしょう。「部落」って何なのでしょう。

もう一度立ち止まって考えてもいい時期ではないでしょうか。

【日時】平成19年9月15日（土）

午後1時30分～午後3時

【講師】鳥取市部落解放研究所専門員

吉岡 悟志さん

【演題】「差別の現実に深く学ぶとは」

【問い合わせ先】岩美町文化センター

☎72-1931

鳥取発 心のふれあいプロジェクト全国集会

子どもたちの心を考える ～これからの教育、これからのニッポン～

◆日 時 / 平成19年9月22日（土）

午前9時30分～午後4時

◆会 場 / 湯梨浜町中央公民館

（湯梨浜町役場 東郷庁舎前）

◆参加費 / 無料

◆申込期限 / 平成19年9月14日（金）

◆内 容

9：30～12：10

基調講演：「子どもの人権と赤ちゃんとのふれあい」

講師：藤井輝明氏（鳥取大学医学部教授）

対談：藤井輝明氏と高塚人志氏

（鳥取大学医学部准教授）

13：00～16：00 2分科会

第1分科会

研修会：「すてきなあなたになるために」

講 師：高塚人志氏

第2分科会

実践発表：「コミュニケーション授業及び赤ちゃんとのふれあいの取り組み」

鳥取大学、三重県 桑名北高校、倉吉東中学校、大山町、境港市、湯梨浜町

17：00～情報交換会：（参加費：5,000円）

◆主 催 / 心のふれあいプロジェクト実行委員会
（湯梨浜町、NPO法人未来）

◆問い合わせ先 / NPO法人未来事務局

（心のふれあいプロジェクト）

TEL（0858）22-9791

URL <http://www.npo-mirai.net>